

事務事業実績測定調書

R5調書番号 742

事務事業名称	秘書事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	秘書課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市長・副市長			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	多種多様な業務の日程調整により効率的に業務遂行を図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	効率的かつ円滑な日程調整・管理及び交渉等による公務遂行が出来ている状態。				
事業概要	市長・副市長等の円滑な公務執行のため、日程調整・管理及び交渉等を行うと共に、必要な場合は、公用車にて安全かつ迅速に目的地へ送迎を行う。諸会議等への随行・情報収集・資料作成等を行う。市長が公務遂行上必要な負担金等を適正に支出する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	38,499	35,154	35,528		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	38,499	35,154	35,528		
	物件費計	2,605	2,364	3,056	3,509	87.1%
	歳出計	41,104	37,518	38,584		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	2,605	2,364	3,056	3,509	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> ・市長・副市長等の円滑な公務遂行のため、日程の重複等支障を生じさせずに適正に日程の調整・管理及び他団体との交渉等を行った。 ・市長・副市長等が公務で特別職車両を利用する際、目的地まで安全かつ時間通りに送迎した。 使用公用車：普通自動車2台、年間走行距離(2台):4,343km、利用延べ日数:187日、輸送回数221回、送迎延べ人員592人 ・必要な負担金(年会費・会議参加費等)の支出を適正に執行した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	現行の取り組み方策を引き続き適用する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 846

事務事業名称	秘書課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	秘書課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	秘書課職員・職場			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑な課の運営を行うことが出来る状態。				
事業概要	秘書課所管庶務関係事務に関して、他部局との連絡調整等を行い、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,500	19,530	19,738		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	16,500	19,530	19,738		
物件費計	373	392	429	490	87.6%	
歳出計	16,873	19,922	20,167			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	373	392	429	490		

5. 総括的分析

総括的分析	・秘書課所管の庶務関係事務に関して適正かつ効率的に他部局との連絡調整を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	現行の取り組み方策を引き続き適用する。